

【ワイタンギ条約】

1840年2月6日、ここワイタンギでイギリスとマオリの人々との間で「ワイタンギ条約」が結ばれました。この条約は、この地名ワイタンギで結ばれたことから「ワイタンギ条約」と呼ばれています。現在2月6日はニュージーランドの祝日「ワイタンギデイ」となっています。このワイタンギ条約は当時衝突が絶えなかったイギリスとマオリ族との間に締結された条約で、内容はイギリス領となるが土地や文化の継承は約束するという内容でした。しかし実際には、イギリス側はこの条約の内容は無視され続けた為マオリはかなりの土地を失いました。イギリス側にとって都合の良い方法で次々と土地を奪われたことからマオリ族の反乱が起き、この反乱は約30年間続きました。ニュージーランド政府によって鎮静されましたが、この問題は約100年もの間放置されました。条約を結ぶ際に英語からマオリ語に翻訳されましたが、一部の英単語に対する適当なマオリ語がなく、相互に誤解が生まれたからだと言われています。1975年にワイタンギ審判所が創立され、このワイタンギ条約で認められた権利について再度審議をした結果一部、強奪された土地は返還となり、また公用語にマオリ語が加えられました。

【ワイタンギ条約グラウンド】

条約記念館や、マオリ集会所、カヌーハウス、ブッシュウォークなどがあります。ゆっくり周ると半日程かかります。



【条約記念館】



現存するニュージーランド国内最古の民家で、イギリス公使ジェームズ・バスビーが公邸として建てました。この民家の内部には現在、ワイタンギ条約に関する歴史的な資料が多く展示されています。

実際に条約の調印が行われたのは家の庭で、海を眺めることができます。そこには1830年代に制定された古いニュージーランド国旗も掲げられています。

【マオリ集会所】



その名の通り、マオリ族の人々が集会を開く場所で、マオリ族独特の彫刻が至るところに彫られています。

また、神聖な場所の為集会所に入る時は靴を脱がなければなりません。夜にはマオリショーの会場となります（要別途予約）

【カヌーハウス】

マオリ族の戦闘用カヌー（ワカ・タウア）が展示されています。

「ワイタンギデイ」には実際に海へ漕ぎ出しているところを見ることが出来ます。



【ガイドツアー】

毎日10:00~16:00の間、1時間毎に催行されています。所要時間は約50分。

英語ガイドによるニュージーランドの歴史や、マオリ族の歴史、ベイ・オブ・アイランドの景色をお楽しみいただき、条約記念館前にて解散となります。

【マオリパフォーマンス】

4~9月: 11:00, 13:00, 14:00 / 10~11月: 11:00, 13:00, 15:00 / 12~3月: 11:00, 12:30, 14:00, 15:30

所要時間は約30分です。

マオリ集会所にて行われます。マオリ族による迫力あるパフォーマンスをお楽しみください。パフォーマンス後には質問タイムや記念写真を撮る時間がございます。